

# 平成28年度決算報告

## 町の家計簿をお知らせします

平成28年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、道の駅整備事業が前年度に完了したことにより、歳入・歳出ともに前年度を下回る規模となりました。なお、決算収支については黒字決算となりました。平成28年度は、道の駅の第2駐車場整備と新たな新鮮市場棟の建設に着手し、今年4月に完成・オープンをしました。

今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

### 一般会計

歳入総額は、28億8248万6千円（前年度比8・4%減）、歳出総額は、26億3966万7千円（前年度比8・6%減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、2億2479万1千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、7681万6千円を積み立て、年度末の残高は12億4240万4千円（前年度比6・6%増）となりました。

### 歳入

歳入の24・3%を占める町税収入は、法人町民税や固定資産税の増収により、前年度に比べ2945万8千円（4・4%）の増となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は9億8789万円で、前年度に比べ8910万6千円（8・3%）の減となりました。地方交付税と町税で歳入全体の58・6%を占めています。

国県支出金（国や県からの補助金など）は、道の駅第2駐車場整備事業

### 歳出

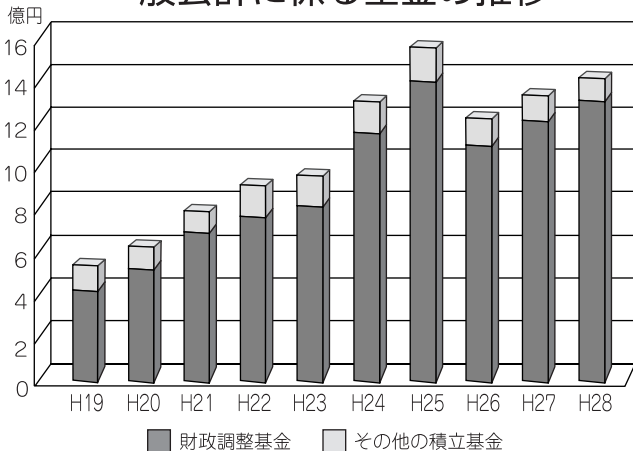
の国庫補助などにより、前年度に比べ1966万1千円（4・9%）の増となりました。

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が19億447万2千円（前年度比0・3%減）で、全体の72・2%を占めています。

道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は3億9362万9千円（前年度比26・7%減）で、全体の14・9%となりました。

平成28年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

一般会計に係る基金の推移



### 平成28年度に実施した主な事業

- 道の駅第2駐車場整備事業 9811万円
- 新町松崎線道路改良事業 4879万円
- 道の駅(新)新鮮市場棟建設事業 (29年度へ一部繰越し) 3843万円
- 古原名木線道路改良事業 2253万円



道の駅第2駐車場整備事業